

進路通信



県立阪神昆陽特別支援学校
進路指導部
(第2号) 令和8年7月7日

～働き続ける人になるために～

～前期職業体験週間を終えて～

前期職業体験週間では、2・3年生が6月1日から2週間の現場実習、1年生が6月8日から1週間の校内実習を実施しました。事前学習では、それぞれの学年に応じて、実習内容の確認、自己紹介や大切な言葉の練習などの準備を整えていました。

清掃の仕事では学校とは違った清掃場所や手順を学び、介護施設では利用者の方々とのコミュニケーションの取り方を体験しました。食品工場では製品の製造過程や安全・衛生管理を学び、事務補助の仕事では書類整理やデータ入力に挑戦しました。自己の目標を達成できた人も、そうでなかった人もいます。みなさんにとって実習は働く経験を積むことができる貴重な機会です。実際に働いている現場から学ぶことも多いです。経験したことや学んだことを振り返り、次に自分が何をすべきかを考えて、次へと動き出してください。

各学年より

1年生 校内実習

1年生は、初めての实習を校内で取り組みました。校内での活動では「会社」を想定し、あいさつや返事、報告・連絡・相談を意識して取り組みました。作業は、実際に商品となる資材を使用し、組み立てや検品、福祉用具の清掃を行いました。初日は表情に緊張が見られ、慣れない作業に戸惑いや疲労も見られましたが、日が経つにつれたくさんの気づきや学びが見られました。また、作業にも慣れ、作業ペースを上げることができるようになりました。いたるところで成長が伺える5日間となりました。この経験を土台に今後の日常実践に生かしてほしいと思います。



実習の準備



手順書



朝礼



ケミカルキャップ



清掃作業



軽作業

2年生 現場実習

今回の実習では、学校で学んだことや身に付けた力を発揮する貴重な機会となりました。実習先の方々からは、作業面だけでなく、職員間のコミュニケーションについても丁寧にご指導いただきました。実習後には学年全体で振り返りを行い、返事や挨拶は日頃から相手に伝わる声の大きさを意識することと、学校とは異なり緊張する場面が多い実習に備えた日常生活の過ごし方について確認しました。今後も学校生活にしっかりと取り組むことで、働くために必要な力を積み重ね、次回の秋の実習へつなげてほしいと考えています。

3年生 現場実習

職業体験週間としては最後の実習期間が終了し、いよいよ卒業後の進路選択が現実味を帯びてきました。実習先の方からいただいた評価をどのように受け取り、どのように行動していくのか。働き続ける人になるために、あらゆる機会を自分自身の成長のために生かしてほしいと思います。今後、進路に関する予定は各自で異なります。毎日の学校生活の延長に進路実現があることを忘れずに、日々を大切に過ごしていきましょう。

実習先の関係で、実習期間中に数名が校内実習を行いました。クーラーのフィルターや換気扇の掃除に始まり、プールサイドの清掃作業、封筒づくりなどの軽作業ほか、様々な内容で実施されました。また2週目からは1年生の校内実習（清掃）にも参加。3年生として作業をリードする場面もあり、校内の美化に努めました。

～ 2、3年生 現場実習＆校内実習の様子～



～ 第一次職業相談会（3年生）～

各地域の就労支援機関（ハローワークと障害者就労・生活支援センター）に来校して頂き、第一次職業相談会が、6月23日(火)～6月25日(木)に学校で実施されました。

面談では、これまでの実習を振り返り、自己の課題や得意なことを確認するとともに、希望職種、就職への意欲、今後取り組むべき課題などについて話し合い、求職登録を行いました。

8月中旬には、第二次職業相談会が予定されており、生徒と保護者の皆さんには各地域のハローワークへ直接足を運んでいただくことになります。6月の相談会で話し合った課題についてのその後の取り組みや、進路の進捗状況についての報告をしていただく予定です。